

「大津遷都 1350 年クイズラリー」 2017/11/23

11月23日（祝・木）「大津遷都 1350 年クイズラリー」を開催し、25組44名の参加を頂きました。

好天の下、京阪大津線の沿線で天智天皇ゆかりの場所をめぐり、クイズ6問中5問を選んで回答するクイズラリーを行いました。



問題は、実際に現地に行かなければ回答できない内容になっていました。（問題と回答は後ろに添付）



大津遷都 1350 年 クイズラリー

今年^{てんじ}は天智天皇が 667 年に飛鳥^{あすか}からこの大津に都を移してから 1350 年になります。天智天皇は天皇を中心とした政治を実現するために、国防や戸籍などいろいろな制度を整えますが、漏刻^{ろうこく}台（水時計）を設けて時間による管理をとり入れたことも有名です。

この地で新しい国づくりを目指した天智天皇でしたが、672 年には病気のため（諸説あり）この世を去ります。その後継者を巡って天智天皇の弟である大海人皇子^{おほあまのみろ}（後の天武天皇）と子である大友皇子^{おほとものおうじ}（後に弘文天皇と贈り名された）が争ったのが壬申^{じんしん}の乱で、大友皇子が敗れ、勝った大海人皇子が再び飛鳥に都を移したため、大津宮は僅か 5 年で廃都となり、僅かな遺跡を除いて往時の姿をとどめるものは無くなってしまいました。

京阪大津線の沿線にはこの天智天皇、大友皇子（弘文天皇）にゆかりの場所が多くあります。今日はそのうちの幾つかのスポットで簡単なクイズを用意しました。大津に都があった昔に思いを馳せてゆかりの地めぐりをお楽しみ下さい。

問題と回答のしかた

問題は全部で 6 問ありますが、回答者はこのうちお好きな 5 問を選んで下の表の太枠内に回答してください。（6 問とも回答して頂いても構いません）

正答数が 5 以上の方には参加記念品を差し上げます。

氏名			
問題	場所	回答	正答確認欄
1	近江大津宮錦織遺跡 第 1 地点		
2	近江神宮		
3	弘文天皇陵		
4	石坐神社		
5	鳥居川御霊神社		
6	天智天皇陵		
正答数			

近江大津宮錦織遺跡 第1地点 (近江神宮前駅下車)

大津宮があったとされる場所で、京阪電鉄近江神宮前駅のすぐ西方にあります。

大津宮の位置については諸説ありましたが、発掘調査により、現在はこの錦織遺跡が内裏のあった大津宮中心部といわれています。

(錦織遺跡は第1地点以外にも数か所ありますのでご注意ください)

問題 1

第1地点にある柿本人麻呂歌碑の階段を隔てて左側に石柱がありますが、この石柱には何と書かれているでしょうか。

- A) 近江大津宮錦織遺跡
- B) 志賀皇宮遺跡
- C) 錦織遺跡公園



大津宮の位置については錦織説、滋賀里説、南志賀説などがありました。

このうち、錦織説にもとづいて明治28年に出題箇所すぐ傍にある高さ3m程の大きな志賀宮址碑が建てられ、問題の道路側石柱もそれを示すように設置されたようです。

昭和49年(1974年)から53年にかけて行われた遺跡調査の結果、今回の出題箇所である近江大津宮遺跡が大津宮の中心部分であったことが確認され昭和54年に国の史跡に指定され、結果的に伝承に基づいた明治28年建立の石碑が近江大津宮錦織遺跡第1地点の直近に並ぶことになりました。

また、横にある柿本人麻呂歌碑は万葉集にある大津の宮の荒廃を嘆く歌が書かれています。

近江神宮（近江神宮前下車）

天智天皇（第 38 代天皇）をお祀りして昭和 15 年に創建された、祭礼に際して天皇により勅使が遣わされる全国 16 社の勅祭社の 1 社です。

漏刻台を設けて国民に時を知らせた天智天皇に因んで、境内には 2 つの日時計、漏刻（水時計）が設置されている他、時計館宝物館（有料）があります。

問題 2

境内にある 2 つの日時計の内、写真手前にある日時計は何式日時計というのでしょうか。

- A) 赤道式日時計
- B) 近江式日時計
- C) 矢橋式日時計

天智天皇は、天智 10 年（671 年）4 月 25 日に漏刻（水時計）を作り、大津宮で鐘鼓を打って時報を開始したと日本書紀に記載されているそうです。

出題箇所の矢橋式日時計は、元岐阜天文台副理事長の矢橋徳太郎氏が考案した日時計で、金属盤を調整する事によって誤差をなくして正確な時刻を確認出来る様になっているそうです。



弘文天皇陵（別所駅下車）

天智天皇の子である大友皇子は壬申の乱で敗れ、僅か 25 歳でその短い生涯を終えます。

大友皇子は長らく天皇としては認められていませんでしたが、明治になって第 39 代天皇として認められ、弘文天皇の贈り名を受けました。その後、長等山麓の一古墳が陵墓に選定されて弘文天皇陵とされました。

問題 3

弘文天皇陵の矢印の石柱には何と書かれているでしょうか。



- A) 弘文天皇別所陵
- B) 弘文天皇長等山前陵（こうぶんてんのう ながら やまさき りょう）
- C) 弘文天皇長等山後陵

弘文天皇とは大友皇子に明治初期になってつけられた贈り名で、天智天皇の第一子です。

天智天皇の後を継ぎますが、後継をめぐる壬申の乱で叔父・大海人皇子（後の天武天皇）に敗北し、若干 25 歳で自害してしまいます。

この陵墓は弘文天皇と贈り名された後に長等山麓の一古墳がに選定され、自害した地である「山前（やまさき）」の名をとって長等山前陵（ながら やまさきりょう）と命名されたものです。

石坐神社（錦駅下車）

錦駅の北、旧東海道に面したこの神社には天智天皇、天皇の采女（身の回りの世話をする官女）で大友皇子の母である伊賀采女宅子媛命（いがうねめやかこひめのみこと）、大友皇子（弘文天皇）が他の神々と共に祀られています。

問題 4

境内には御神木の大きな榎えのきがあり、大津市の保護樹木となっています。ではこの保護樹木の指定番号は何号でしょうか。

- A) 2号
- B) 7号
- C) 9号



大津市保護樹木とは「大津市の自然環境の保全と増進に関する条例」に基づいて、良好な自然環境の保全と市街地における美観風致を維持するために必要があると認めるものについて指定する樹木のことです。神社のご神木なども多く指定されています。

石坐(いわい)神社の琵琶湖側に走っているのが旧東海道で、この道を 100m 程 浜大津寄りに行った所に、壬申の乱に敗れ 25 歳で自害した大友皇子を子の與多王（よたおう）が住職となり弔った法傳寺(ほうでんじ)という寺院があり、今も代々の大友一族によって守られています。

鳥居川^{ごりょう}御霊神社（唐橋前駅下車）

大友皇子（弘文天皇）がお祀りされています。

大友皇子は壬申の乱に破れ、この地で最後を迎えたとも言われていて、大友皇子の子である大友與^よ多王^{たおう}が父の霊を祀るために御霊宮を創建したのがこの神社の始まりとされています。

問題5

本殿右奥に稲荷社^{いなりしゃ}があり、正面道路から沢山の鳥居をくぐっても行くことができます。右写真一番手前の大きなものから始まって、稲荷社までに幾つの鳥居をくぐるでしょうか。

- A) 18
- B) 28
- C) 38



天智天皇陵（御陵駅下車）

7世紀末から8世紀頃に築造された八角墳です。天智天皇は672年、志半ばにして病没し、狩りなどに良く訪れたとされるこの山科の地に葬られたとされています。（死因については諸説あります）

問題6

御陵の左手前に宮内庁の管理事務所がありますが、この事務所の名称はどれでしょうか。

（事務所入口横の看板に記載）

- A) 宮内庁御陵部京都監区山科事務所
- B) 宮内庁書陵部京都監区月輪事務所
- C) 宮内庁書陵部月輪監区山科部事務所



宮内庁書陵部（しりょうぶ）は、皇室関係の文書や資料などの管理と編修、また陵墓の管理を行う、宮内庁の内部部局の一つです。また京都市東山区、泉涌寺内にある月輪（つきのわ）陵墓監区事務所では富山県、石川県、滋賀県、鳥取県、島根県内と京都府、兵庫県の一部の陵墓を管理しています。ちなみに月輪は泉涌寺のある地名です。

御陵に正面の参道入口左手には時を知らせた天智天皇に因んで1938年に設置された日時計があり、天恩無窮の碑文がきざまれています。